

【別紙 2】

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第 3 回中津川市社会教育委員の会 (兼) 中津川市公民館運営審議会
開催日時	平成 29 年 3 月 28 日 (火) 19 時 00 分～20 時 50 分
開催場所	健康福社会館 4 階多目的ホール
出席者の 役職名	社会教育委員 (兼) 公民館運営審議会委員 8 名 欠席委員 9 名 事務局 文化スポーツ部長・文化スポーツ部次長・生涯学習スポーツ 課長・図書館長・文化振興課長・鉱物博物館長・生涯学習ス ポーツ課長補佐・主任主査・社会教育指導員 公民館長 (中央・坂本・苗木・神坂・坂下・付知・加子母)
話し合われた内容 (会議録又は審議 概要)	(次第) 1 会長あいさつ 2 文化スポーツ部長あいさつ 3 議題 ・提言をふまえた意見交換会 4 閉会 1. 会長あいさつ 2. 文化スポーツ部長あいさつ ・「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」により、 本会議の公開を決定する。 3. 議題 (以降の進行は会長) ・提言をふまえた意見交換会 A～D の 4 つのグループに分かれてグループ討議を実施した。各グル ープの代表的な意見は次のとおりである。 Aグループ ・「社会教育」を具体的な活動で表したので、そこから自分がしなけ ればならないことがみえてくるのではないかと。 Bグループ ・人間が活動、進歩していく上で、その生活・活動そのものが「社会 教育」。

	<p>C グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人がどのような活動をしているか、知ることが大事。 ・活動を持続していくためには、ボランティアだけではだめ。 ・自分達が抱えている問題に気付いて、それをどう解決するかを学び、教えあうという人やグループが増えれば、行政任せではなく、自分達で工夫していき、そういう人達がつながっていくと、中津川市の市民力もあがる。そういう活動を増やししながら、地域の人に話しをしていくことも社会教育委員の仕事ではないか。 <p>D グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育という意識がなくても、様々な活動が社会教育に繋がっている。 ・社会教育とは、話すこと、コミュニケーション。上から目線にならないよう。 ・家庭教育は、親子のふれあい。 ・生きていること生きていくこと、人と人とのふれあいが、社会教育とっていいのではないか。 <p>会長</p> <p>これから先の時代を考えた時、「人育て」「地域育て」が必要。活動の中で、こういう人を育てているということ、具体的に表すことで、文化スポーツ部の方針と重点にある「いきいきとした人づくりを実現するなかつがわ」に繋がっていける。この会をそういう会にしていきたい。</p> <p>社会教育委員の役割として、行政と地域の間に入り、つなげたり、意見を述べたりする、ということ再認識できた。</p> <p>市の社会教育委員の会の方針と重点を作成できるとよい。</p> <p>課長</p> <p>社会教育委員の会の方針と重点の雛形を作成し、委員のみなさんに見直ししながら、かたちにしていきたい。</p> <p>4. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
会議資料	(添付ファイル) 資料
次回開催予定日時	
次回開催予定場所	
所管部課	生涯学習スポーツ課